

定例医療講演会特別企画 愛知淑徳大学クリニック共催講演会「糖尿病について」

愛知淑徳大学健康相談室「定例医療講演会」の特別企画として、3月25日に愛知淑徳大学クリニック共催講演会を開催しました。愛知淑徳大学クリニック糖尿病内科医井口昭久先生（健康相談室長）、同糖尿病内科医植村和正先生、同管理栄養士服部しげこ先生が講師を務め、「糖尿病」に関する講演を行いました。

開会にあたり、愛知淑徳大学クリニック院長稲福繁先生が「この講演会が、病気の予防や治療に役立つ時間となれば幸いです。」と挨拶。会場に集まった方々は、3人の先生方の講演に熱心に聞き入り、質問も投げ

かけながら糖尿病に関する知識を深めていきました。

第1部は、植村先生の講演「日常生活管理による肥満・糖尿病予防」イラストでわかる日常生活のポイント。健康障害を引き起こす肥満や糖尿病の予防について、植村先生は「毎日『体重ノート』をつけましょう。1日4回、体重を測定すると、自分に適した食事がわかるようになります」など、具体的な方法をイラストで紹介しました。

美味しく続けていく「適糖生活」を提案した服部先生は、「汁三菜」の和食でバランスよく栄養補給「野菜を先に食べ、血糖値の急な上昇を防ぐ」といった、献立づくりや調理、食べ方のコツをいねいに解説しました。

締めくくりとなる第3部は、井口先生の講演「老化と糖尿病」ドクター井口の爆笑解説。井口先生は著書のエッセイ集や食事制限に関するアメリカの最新論文などを用い、老化や糖尿病に関する難しい内容もユーモアを交えて解説しました。来場者の方々が「自分の心身の健康」「加齢」と楽しく向き合う、明るい笑い声に包まれた講演会となりました。

閉会挨拶として井口先生は「健康相談室では今後も講演会を定期的で開催しますので、ぜひまたご参加ください」とメッセージを送りました。

愛知淑徳大学クリニックの内科・糖尿病内科へは2017年4月に2人の医師が着任。他科同様、月々金曜の毎日ご利用いただけるようになりま

す。本講演会は愛知淑徳大学クリニックと健康相談室とで地域医療への貢献をめざす、本学の強い意志を伝える場ともなりました。

閉会挨拶として井口先生は「健康相談室では今後も講演会を定期的

に開催しますので、ぜひまたご参加ください」とメッセージを送りました。



健康相談室長・糖尿病内科医
井口先生
(スポーツ・健康医科学科 教授)



愛知淑徳大学クリニック院長
耳鼻咽喉科医
稲福先生 (言語聴覚学専攻 教授)



管理栄養士
服部先生 (健康栄養学科 助手)



糖尿病内科医
植村先生 (健康栄養学科 教授)

愛知淑徳大学クリニック

<http://www.aasa.ac.jp/clinic/>

☎ 0561-62-1222 院長 稲福 繁

地域のみなさまにご利用いただけるクリニックです。

- 眼科
- 心療内科・精神科
- 耳鼻咽喉科
- 内科・糖尿病内科

栄養指導・言語聴覚療法もおこなっています(完全予約制)。

診療時間

・午前の部10:00~13:00 ・午後の部15:00~18:00

休日

土曜日・日曜日・国民の休日・8月12日~17日・12月29日~1月3日

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
眼 科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
耳鼻咽喉科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
心療内科・精神科	●	●	●	●	●	●	●	▲	●	●
内科・糖尿病内科	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

※▲:毎月第1・3・5週のみ診療

2017年4月より内科・糖尿病内科の診療曜日・診療時間・担当医が変わります。
新たに診療を始める曜日・時間は●です。

※詳細は電話またはホームページにてご確認ください。

都市環境デザインコース 2017卒業プロジェクト展・学外展

メディアプロデュース学部メディアプロデュース学 2016年度からは著名都市環境デザインコース（現・創造表現学部創造表現学科建築・インテリアデザイン専攻）の卒業プロジェクト展・学外展が、2月21日から6日間にわたって名古屋市民ギャラリー栄で開催されました。会場には、学内審査で高い評価を受けた設計・制作と論文が



第4回メディア表現コース卒業プロジェクト展

2月7日から6日間、愛知芸術文化センターにてメディアプロデュース学部メディア表現コース（現・創造表現学部創造表現学科メディアプロデュース専攻）の卒業プロジェクト展が開催されました。展示されたのは、写真、グラフィック、映像、サウンドなどの多彩なメディア作品。その一つひとつが学生一人



3月31日、リオ五輪で女子7人制ラグビー日本代表として出場された兼松由香（旧姓本間）さんの栄誉を称え、理事長より表彰状が授与されました。

何度ものけがを乗り越え、子育てをしながら淑徳魂を発揮し全力でフィールドを駆け抜けた姿は、文武両道を掲げる本学園の誇りであり後に続く者への範として表彰されたものです。

表彰式には中学・高校の校長、副校長、事務局長、法人本部長も列席しともにご活躍を称え、お祝いをいたしました。

表彰式終了後は茶話会が行われ「高校時代にソフトボール部の宮沢先生から厳しく鍛えられたことがその後の自分のラグビースタイルに活かされている。チームでは最年長の選手だったが、そんな中でトライを奪うことができチームメイトに感謝して



「頸椎の手術をした時は引退も考えたがオリンピックから帰国後にも再手術したのでも取り組んでいきたい。4月からは大学院に進学し理論的な面でも力を蓄えたい。」と語る兼松さんは、さくらセブンズの選手のサイン入りユニフォームを披露しながら新たな目標に向かってさらに奮闘することを誓っておられました。

リオ五輪7人制ラグビー代表 兼松由香さん（2001年3月愛知淑徳高等学校卒業）を理事長表彰

いる。ラグビー独特の文化であるノーサイドの後のチーム同士での交歓会が楽しい。娘を現地まで連れてきてくださった応援団の皆さんに感謝している。」ことなどに話が弾みました。

娘の明日香ちゃんは表彰式にも同行しお母さんが学園の関係者と懇談する様子を笑顔で見守っていました。

第70回高等学校入学式

4月6日、満開になった淑徳坂の桜に歓迎され、272人の新入生が晴れの日を迎えました。校長は式辞で「人を知ること、物の成り立ちを知ること、問題の解決方法を考える力。高校生活ではこれらを手に入れるよう努め、豊かな知と精神を持つ人として次世代を担う力をつけてほしい」と語られました。

理事長からは「高校3年間がより充実したものになるように」との励ましの言葉が贈られ、新入生全員が心に刻み込んでいました。高校時代は心身ともに大きく成長できる時期です。将来を見据えて勉強、行事、クラブ活動により積極的に取り組み、実り多い日々になるよう願っています。



平成28年度中学校卒業式

3月16日、今年も美しい淑徳晴れに恵まれ275人が愛知淑徳中学校を卒業しました。卒業生の「信じる」の歌声がアリーナに響き渡ると、保護者のみなさまの感慨も一入という表情で、思いをかみしめておられました。理事長は中学の卒業は人生の節目であり、その節目があるからこそ竹は強いのだと話されました。

卒業生は今日の節目を大切にさらにそれぞれの一步を踏み出そうという思いを強くしていました。

毎年の学年最後の行事で、在校生は卒業生の晴れの姿を見送るにふさわしい厳粛な式にし、一年の大切な行事を終え、卒業生も在校生も4月を迎える心の準備がすっかりできました。



思索と対話の春合宿

高1の宿泊行事である「思索と対話の春合宿」が4月16日～18日に蒲郡市三谷温泉明山荘にて行われました。この行事を蒲郡で行うのは、今回で3年目です。美しい三河湾に面した素晴らしい環境のもと、生徒たちは充実した時間を過ごしました。実施されたプログラムは、スクールカウンセラーである平野

先生の講演会「からだからこころへ」、卒業生14人による講義、いちご狩りなどの多様な内容でした。本校独自の資料集を使った「思索」、生徒同士による「対話」のレクリエーションなども行われ、一人ひとりが自分の心と向き合いました。その経験は、今後の学園生活や将来に大いに役立つことでしょう。

